



広報 きたかた

4月号

2017

No.136



喜多方市公式
facebook



力強い産業 人が輝く 活力満ちる
安心・快適なまち を目指して

新 総合計画 スタート



**10年先、さらにその先も
豊かで元気な喜多方を**

今後10年間の新しい本市発展の指針となる「喜多方市総合計画（2017～2026）きたかた活力推進プラン」を策定しました。この計画では、目指すべき将来の都市像を「力強い産業 人が輝く 活力満ちる安心・快適なまち」と定め、本市に活力を生み若者の定住につながる産業の振興をこれまで以上に力強く推し進めるとともに、本市の将来を担う人材の育成や、子どもからお年寄りまで安心・快適に生活できるまちづくりに取り組んでいきます。

この都市像を実現し、10年先、さらにその先も豊かで元気な喜多方を市民の皆さんとともに築き上げ、本市に住む誰もが「喜多方に生まれてよかった、住んで良かった」と思えるような、そして全国の方々に「喜多方に住みたい」と思ってもらえるような魅力あるまちづくりを進めていきます。

もくじ Contents

4月号 2017 No.136

- P2 特集 新総合計画スタート
力強い産業 人が輝く 活力満ちる安心・快適なまち を目指して
- P6 29年度予算概要
- P10 高齢者の運転免許自主返納を支援
- P11 太極拳ゆったり体操／足腰元気教室
- P12 休日は公園で過ごす／旧甲斐家蔵住宅無料公開
- P14 健康だより
- P16 生涯学習の広場
- P17 住民基本台帳の一部の写しの閲覧状況
- P18 喜多方フォトニュース
- P20 情報ステーション
補助・支援
- P25 子育て
- P26 募集
- P28 イベント／お知らせ
- P29 税／年金
- P30 春の全国交通安全運動／2月末現在ふるさと納税
- P31 犬の登録・狂犬病予防定期集合注射
- P32 農地の賃借料情報
- P33 市勤労者互助会会員募集
- P34 相談／休日当番医／献血
- P35 市民と市長の談話室／美術館／図書館
- P36 ふるさとの遺産／人口

将来の都市像の実現に向けた 施策の4つの柱

大綱1

地域の特性を生かした力強い産業づくり

人口定住に結びつく持続可能な経済活動の実現に向け、基幹産業である農業、ものづくり産業の更なる発展と地域資源を活用した魅力ある観光を推進するとともに、企業の誘致や林業の再生、街なかの賑わいを創出するなど、力強い産業の振興により新しい産業や雇用の創出、所得の向上が実現されるまちを目指します。

大綱2

地域を支え未来を拓く人づくり

「まちづくりは人づくりから」の理念のもと、次代を担う子どもたちに向け質の高い良好な教育の実践とその環境整備に取り組むとともに、市民一人一人が、郷土の偉人や歴史・文化に学び、心豊かで充実した人生を送ることができるよう学習機会の提供や主体的に活動できる環境を整備します。そして、生涯にわたり郷土に愛着と誇りを持って、さまざまな分野で活躍する、本市の未来を支える人材が育つまちを目指します。

大綱3

安全・安心、思いやりのある、 人にやさしいまち・くらしづくり

保健、医療、介護、福祉の充実と連携、災害への備えの強化など日々のくらしにおける安全・安心を確保し、若い世代が安心して子どもを産み育てることができる環境や高齢者が元気に生きがいをもってくらせる環境づくりを推進するとともに、生活や産業などを支える社会基盤の維持・充実により、活力ある、だれもが快適で生活しやすいまちを目指します。

大綱4

自然との共生と元気なふるさとづくり

市民が主体的に行うまちづくりや市民活動を支援し、地域間の連携と交流や大学、企業などとの協力・提携、移住者の受け入れなどにより魅力的で持続可能なまちづくりを推進するとともに、生活環境や自然環境、地球環境へ配慮した取り組みを進めるなど、地域の価値を高め、自然との共生と市民と行政の協働による活力あふれるまちを目指します。

もっとよく知ろう

総合計画は、市のまちづくりの目標や目指していく将来の姿を定め、それを実現するための施策の基本的方向を総合的かつ体系的にまとめたもので、市のあらゆる施策や計画の基礎となる計画です。

ありました。平成18年の合併後、平成19年度から平成28年度までの10年間を計画期間とする総合計画を策定し、各地域の豊かな自然や地域資源を生かしながら、市民の一体感の醸成と均衡ある発展に取り組んできました。



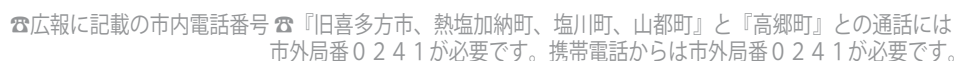
グループでまとめた現状や理想▼

どうやって作ったの？

アンケートや市民ワークショップで市の現状と課題や理想の姿などを聞き取り、生かすとともに、前の計画の大事なところを引き継いで計画案を作りました。

その後、基本計画審議会や市民懇談会などで多くの方から意見をいただき検討を重ね、最後に市議会の議決を得て計画が策定されました。

- 企業誘致で雇用を増やす
- 農業だけでなく、樹木資源のエネルギー産業への活用や、木材のブランド化によって林業の活性化も必要
- 地域資源の活用のため、観光ルートの紹介や観光マップによるPRが必要
- 病院がない地区へのAEDの設置や訪問診療などによる地域医療の充実が必要
- 不妊治療の継続的補助や、産婦人科の整備など子育て環境の充実が必要
- 地域コミュニティを維持するには、同居できる環境を作るための補助制度や、地域コミュニティの範囲拡大や移住者の受入による地域コミュニティの再構築が必要
- JR、バス、デマンドの利用が少ないので、利用者のニーズに合わせた運営が必要



Q 喜多方市の課題って何？

アンケートや市民ワークショップの結果からは、

- ① 産業の振興と雇用の創出への対応
- ② 地域医療体制の充実
- ③ 子育て環境整備の充実
- ④ 地域コミュニティの活性化
- ⑤ 地域資源の活用
- ⑥ 公共交通機関の利用環境への対応

が挙げられました。

また、今の時代の流れからは、

- ① 人口減少社会（少子高齢化）の進行
- ② 経済情勢への対応
- ③ 安全・安心対策の充実
- ④ 未来を拓く人材の育成
- ⑤ 環境問題への対応
- ⑥ 高度情報化への対応
- ⑦ 価値観・生活様式の多様化への対応
- ⑧ 市民参画と協働の推進
- ⑨ 地方分権の進展と特色ある自治体運営の推進

が挙げられました。

新しい総合計画では、これらの課題に対応していく内容となっています。



▲喜多方市基本計画審議会

地区別市民懇談会▼



Q なぜ、将来の都市像を「力強い産業 人が輝く 活力満ちる安心・快適なまち」にしたの？

課題の中でも特に人口減少に注目したからです。

人口減少問題は、労働力人口の減少や地域社会の活力低下、社会保障費の増大など、社会経済や市民生活に大きく関わってきます。喜多方市は、この人口減少に真正面から向き合い、元氣な喜多方を維持していかなければなりません。そのためには、

若者の定住につながる産業の振興をこれまで以上に力強く推し進めるとともに、本市の将来を担う人材の育成が重要と考えました。

そして、これら産業の振興と人づくりによって、良好な経済状況と安定した市民生活を生み出し、誰もが活躍する、活力に満ちた元氣なまちと市民の求める安心で快適な暮らしを実現していくという想いが込められています。

Q この都市像の実現に向けて、どう計画を進めているの？

大きな柱となる4つの大綱（※P③参照）のもと、各施策を推進していきます。

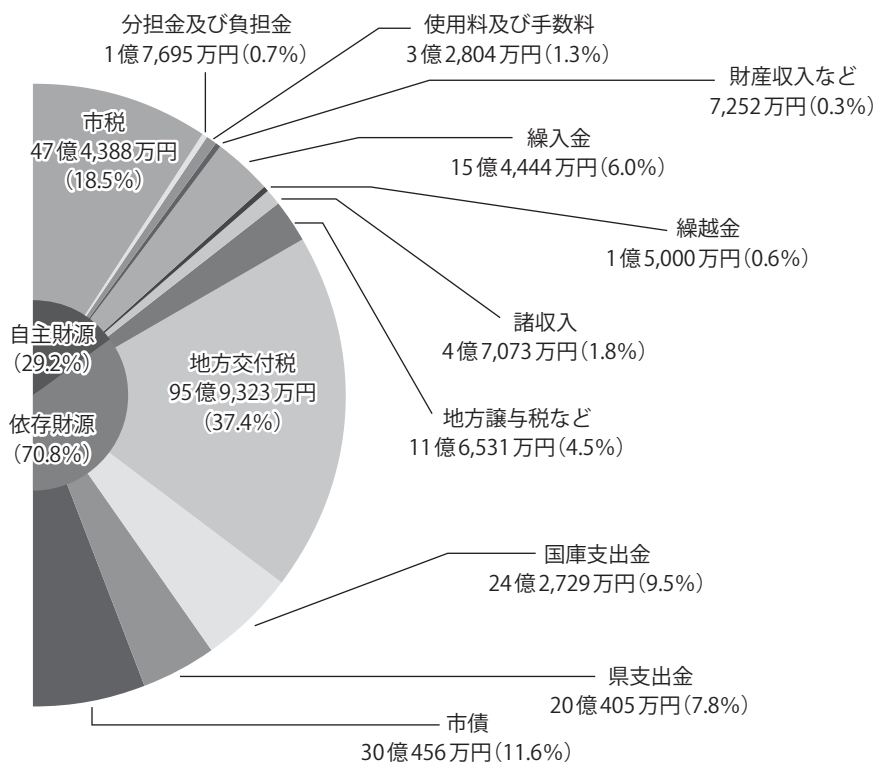
施策の内容など、計画の詳細は、「喜多方市総合計画きたかた活力推進プラン（概要版）」（冊子）を後日各戸へ配布しますので、ご覧ください。

問 企画調整課 政策調整室企画政策班
☎（24）5207

予算の「一般会計」は256億8,100万円

52万8,949円が使われます (平成29年2月1日現在の現住人口4万8,551人で算出)

歳入



29年度予算概要をお知らせします

「力強い産業 人が輝く 活力満ちる安心・快適なまち」の実現に向け、産業の振興と人づくりが両輪となり、良好な経済状態と安定した市民生活を生み出し、誰もが活躍する活力に満ちた元気なまちを目指します。

平成29年度歳出予算については、新しい本市発展の指針となる「喜多方市総合計画(2017～2026)きたかた活力推進プラン」で掲げた市の将来の都市像である「力強い産業 人が輝く 活力満ちる安心・快適なまち」の実現に向けた事業に取り組むための所要経費を計上し、一般会計当初予算の総額は、256億8100万円で、平成28年度当初予算と比較して13億5400万円の増となりました。

一般会計当初予算の概要

歳入 市民税は、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで緩やかな回復基調により個人市民税の増収が見込まれ、固定資産税は、地価は下落しているものの、定住促進による家屋の新増築数の増加や設備投資による償却資産の増加により増収が見込まれるところであり、市税全体では平成28年度当初予算と比べて増額となる見込みです。

各交付金は、地方消費税交付金、地方特例交付金、自動車取得税交付金について増加する見込みのため全体的に増額となる見込みです。普通交付税は、合併算定替の段階的縮減、国の地方財政計画や平成28年度の算定結果などを基に基準財政収入額、基準財政需要額の見込みなどから平成28年度当初予算額と比べて減額の見込みです。

歳出

新しい本市発展の指針となる新総合計画「きたかた活力推進プラン」の将来像を実現するための施策の基本方向(大綱別)により事業を展開し、特に喫緊の課題に対し戦略的・重点的に実施する事業について「躍進する喜多方創生事業」として所要経費を計上しました。

また、財政の健全化を進めるため、必要性、緊急性、優先度および事業の終期などを考慮し、財源を有効に活用する観点から、事業の重点・選別化を念頭に予算の計上を行いました。

予算編成の要点

「躍進する喜多方創生事業」として戦略的・重点的に実施する事業にかかる所要経費を計上しました。

少子・高齢化という大きな課題に対し、本市の特徴を生かした自立的で持続的なくらしを創生するための事業にかかる所要経費を計上しました。

児童手当の支給、子ども医療費(18歳以下の医療費)の無料化、インフルエンザ予防ワクチンなどの接種費の助成、特定不妊治療費助成など少子化や予防医療にかかる扶助費や委託料の所要経費を計上しました。

多面的機能支払交付金、中山間地

特別会計予算

国民健康保険事業特別会計	65億9,531万円
後期高齢者医療事業特別会計	5億3,102万円
介護保険事業特別会計	55億716万円
公有林整備事業特別会計	1,667万円
都市計画事業塩川駅西土地区画 整理事業特別会計	5,606万円
農業集落排水事業特別会計	2億488万円
下水道事業特別会計	14億7,302万円
駒形財産区特別会計	1,443万円
一ノ木財産区特別会計	3,955万円
早稲谷財産区特別会計	1,903万円

水道事業会計予算

●収益的収入 および支出〔営業勘定〕 (単位：万円)

収入		支出	
区 分	予算額	区 分	予算額
営業収益	10億1,014	営業費用	10億7,641
営業外収益	2億315	営業外費用	7,665
特別利益	10	特別損失	300
計	12億1,339	予備費	300
		計	11億5,906

●資本的収入 および支出〔資本勘定〕 (単位：万円)

収入		支出	
区 分	予算額	区 分	予算額
企業債	4億	建設改良費	8億2,455
出資金	1億2,295	固定資産購入費	544
補助金	3,200	企業債償還金	3億4,069
負担金	2,956	予備費	300
繰入金	22	計	11億7,368
計	5億8,473		

※財源不足額5億8,895万円は、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額などで補てんします。

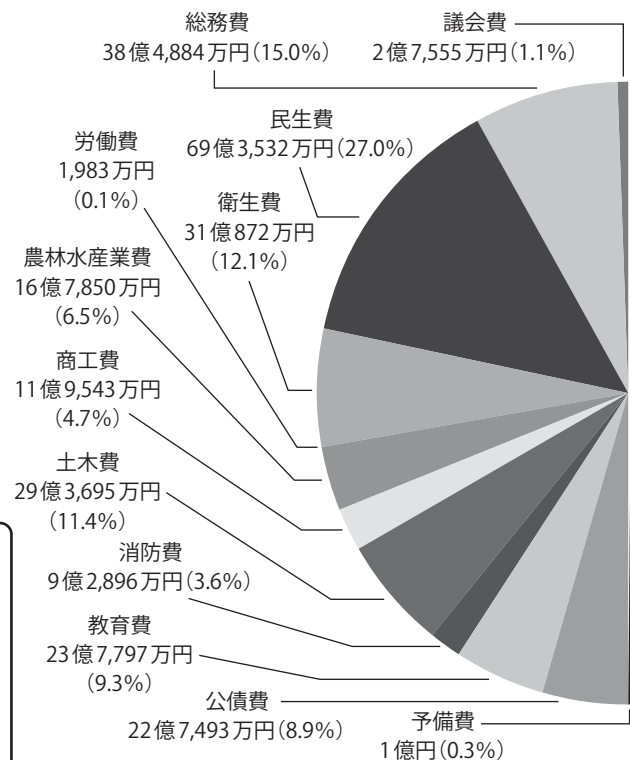
●業務の予定量

・給水件数	16,900 件
・年間総給水量	5,078,870 m³
・1日平均給水量	13,915 m³

問 財政課 財政係 ☎(24) 5213

皆さんの暮らしに身近な

市民一人当たり



また、国庫支出金は、障害者福祉援護負担金、施設型給付費等負担金、東北観光復興対策交付金などが増加していることから増額となっています。県支出金は、無線システム普及支援事業補助金、施設型給付費等負担金、震災対策農業水利施設整備事業補助金、駒形地区文化財調査事業費委託金などが増加していることから増額となっています。

このような見込から平成29年度一般会計歳入予算は前年度当初予算と比べて13億5,400万円の増額となっています。

主な建設事業として、V・LOW災害情報連携システム構築事業、新総合支所庁舎建設事業、駒形こども園改修工事、豊川・慶徳線道路整備事業、塩川駅東西自由通路整備事業、坂井・四ツ谷線街路事業、御殿場公園整備工事、第一中学校体育館改築工事など所要事業費を計上しました。

域等直接支払制度交付金などの農業施設の保全や維持管理に対する支援経費、工場等設置助成金、雇用促進助成金などの産業の振興と雇用機会の拡大を図るための経費および地域活性化を図るために観光振興の推進にかかる所要額を計上しました。

大綱3 安全・安心、思いやりのある、人にやさしいまち・くらしづくり

新	私立保育施設保育士等処遇改善事業 (待機児童の解消を図るため保育士などの処遇改善に取り組む市内の認可保育所などに対する補助金の交付)	事業費： 13,470千円	躍進
新	親子みんな健康アプリ(電子親子手帳・予防接種スケジュールサービス)事業 (予防接種スケジュール管理や成長記録管理機能の提供、市から母子保健事業や予防接種などに関する情報提供の実施)	事業費： 670千円	躍進
新	運転免許証自主返納者支援事業 (運転免許証を自主返納した高齢者に対する喜多方市予約型乗合交通の乗車券などの交付)	事業費： 2,250千円	躍進
新	もの忘れ検診事業 (高齢者などの認知症の早期治療の促進と重症化の予防推進のための医療機関でのもの忘れ検診を実施)	事業費： 1,352千円	躍進
新	家計相談支援事業業務委託 (生活困窮者に対する家計に関する相談や家計管理に関する指導、貸付のあっせんなど)	事業費： 7,001千円	躍進
◆	V-Low 災害情報連携システム構築事業 (V-Lowやホームページなどへの災害情報を発信するシステム構築や戸別受信機4,000台の整備、放送電波の強度を確保のための喜多方送信所を建設)	事業費： 549,148千円	躍進
新	駒形こども園改修事業 (0歳児受入のための施設整備)	事業費： 16,423千円	
新	豊川・慶徳線道路整備事業 (会津縦貫北道路喜多方インターチェンジへのアクセス道路の整備)	事業費： 90,000千円	

大綱4 自然との共生と元気なふるさとづくり

◆	地域おこし協力隊による地域活性化事業 (「地域おこし協力隊」新隊員の導入と伝統産業の継承のための活動を支援し、地域への定着・定住を図る)	事業費： 33,782千円	躍進
◆	「住むなら喜多方！」若者定住促進事業 (市内で住宅などを取得する市内外の若者への住宅取得補助金などの支給)	事業費： 32,015千円	躍進
新	再生可能エネルギービジョン策定事業 (現行の地域新エネルギービジョンに代わる再生可能エネルギービジョンの策定)	事業費： 751千円	躍進
新	小型家電リサイクル導入実証実験事業 (市役所本庁舎および各総合支所への回収ボックス設置)	事業費： 378千円	躍進
◆	喜多方地方広域市町村圏組合斎場負担金(斎場建設費) (新斎場の建設)	事業費： 368,990千円	

そ の 他

新	コンビニ交付サービス事業 (コンビニエンスストアでの住民票の写しや住民票記載事項証明書などの交付)	事業費： 51,743千円
◆	新総合支所庁舎建設事業 (塩川および山都総合支所庁舎の建設)	事業費： 622,293千円

新 平成29年度より新たに始まる事業

躍進 平成29年度から戦略的・重点的に実施する「躍進する喜多方創生事業」の略

平成29年度 主な事業と予算

大綱1 地域の特性を生かした力強い産業づくり

新	喜多方市農林業ビジョン策定事業 (農林業振興の総合的な指針となる新たなビジョンの策定)	事業費： 620千円	躍進
新	雄国山麓地区営農確立モデル実証事業 (加工用馬鈴薯の輪作体系の実証事業)	事業費： 2,700千円	躍進
新	植樹祭補助金 (しだれ桜苗木を「日中線記念自転車歩行者道」に植樹する植樹祭の開催)	事業費： 800千円	躍進
◆	新工業団地整備事業 (綾金地区の工業団地整備および工場団地のPR・企業誘致活動)	事業費： 4,152千円	躍進
◆	奨学金償還支援事業 (喜多方市奨学資金(奨学金)などの貸与を受けた者で卒業後に市内に就職し、居住する者に対する奨学金の償還支援)	事業費： 1,800千円	躍進
◆	三ノ倉高原花畑事業 (「菜の花」、「ひまわり」などの花畑づくりや誘客イベントの実施)	事業費： 28,531千円	躍進
新	日本遺産認定「会津の三十三観音めぐり」継承事業 (認定ストーリーの活用や後世への継承、並びに構成文化財などの保全、文化財所在地域の活性化)	事業費： 1,802千円	躍進
新	訪日外国人誘客推進事業 (観光素材の調査事業や福島県や新潟市と連携したプロモーションなどで外国人の誘客を図る)	事業費： 9,183千円	躍進
新	グリーン・ツーリズム企業連携推進事業 (企業との連携のため誘致活動やモニターツアーなどを行う団体への支援)	事業費： 2,858千円	躍進
新	県営駒形地区経営体育成基盤整備事業(駒形第三地区) (駒形第三地区のほ場整備事業費の一部負担)	事業費： 18,528千円	
新	飯豊山山小屋等施設整備事業 (御沢キャンプ場の支障木除去および切合避難小屋の照明設備などの整備)	事業費： 4,732千円	

大綱2 地域を支え未来を拓く人づくり

新	喜多方っ子の「夢」実現事業 (各界の第一線で活躍する「本物」を招聘し、講演会・トークイベントを開催)	事業費： 2,900千円	躍進
新	学校課題対応事業 (専門的な資格や力量などを有する人材と連携し、複雑多様化する学校教育に関する課題に対応できる校内指導体制の構築)	事業費： 2,787千円	躍進
新	喜多方市文化芸術創造都市推進事業 (文化芸術が持つ創造性を地域振興や観光・産業振興などに活用した活動の推進)	事業費： 4,082千円	躍進
新	小・中学校防犯カメラ設置事業 (防犯カメラの効果的な設置と運用方法確立のために防犯カメラを設置)	事業費： 1,404千円	
◆	学校生活支援員配置事業 (特別な支援が必要な児童・生徒が在籍する学校に支援員を配置)	事業費： 23,958千円	
◆	学校給食食材検査事業 (学校給食の安全・安心の確保のための食材検査の実施)	事業費： 16,811千円	
新	生涯学習推進計画策定事業 (学習活動や生涯学習、生涯スポーツなどの推進方策のための計画策定)	事業費： 1,733千円	



高齢者の 運転免許 自主返納を 支援します

喜多方市運転免許証自主返納者支援事業

公安委員会に運転免許証を自主返納した高齢者に対し、デマンド交通の回数券またはタクシー助成券を交付します。

●支援内容(いずれか一つ)

- (1)デマンド交通の回数券100枚(4万円相当)
- (2)市内タクシー会社の助成券100枚(4万円相当)

●対象者(次の全てに該当する方です。)

- (1)平成25年4月1日以降に自主返納をした方
- (2)本市の住民基本台帳に記録されている方
- (3)運転免許証の自主返納時に満年齢65歳以上の方

●申請方法

申請書に必要事項を記載し、運転経歴証明書の写しを添付して提出してください。申請書は市ホームページからもダウンロード可能です。

●留意事項

- (1)支援は、1人1回限りです。
 - (2)本事業は、平成34年3月31日で終了しますが、回数券および助成券の有効期限は、交付を受けた日から5年間です。
 - (3)回数券および助成券を利用できる方は交付を受けた本人のみです。
 - (4)回数券および助成券の再交付は行いません。
- ※受給者が不正に回数券などの交付を受けた場合には、決定を取り消し、使用した利用料金を返還することになります。



問 申 生活防災課 ☎(24)5208 または各総合支所住民課 地域振興班

運転免許証の自主返納はどうすればいいの？

身体的な理由などにより、自動車などの運転をしなくなった方は免許センターや警察署への申請により運転免許証を取り消し(返納)することができます。

申請できる方	○運転免許証の所在地が福島県内の方で運転免許証の有効期限が残っていること
申請場所	○福島・郡山運転免許センター 福島県内の警察署および各分庁舎 ※喜多方警察署管内では、奥川駐在所でも手続きを行うことができます。
受付時間	○月曜日～金曜日(祝日、年末年始12月29日～1月3日を除く) 午前8時30分～正午、午後1時～2時 ※申請書類を作成していただきますので、時間に余裕を持って来庁してください。
必要書類	○運転免許証 ○運転免許証を紛失した方は写真1枚(縦3.0cm×横2.4cm撮影後6ヶ月以内)
その他	○申請による運転免許証の取消しは、本人以外は申請手続きできません。 ○申請による運転免許証の取消しにより、全ての免許を取り消す方は、申請日から自動車などの運転はできません。申請当日は、公共機関または家族などによる送迎により来庁してください。 ○運転免許証の一部取り消し申請をする場合は、手数料などが必要になることもありますので、各運転免許センターおよび最寄りの警察署、分庁舎へお問い合わせください。

問 申 福島運転免許センター ☎024(591)4372 または喜多方警察署 ☎(22)5111

介護予防教室 健康寿命を延ばし 介護に頼らない

1 太極拳ゆったり体操教室

太極拳ゆったり体操は、椅子に座ったままできる体操で、バランス機能の向上や下肢筋力を中心とした全身の筋力アップに効果があります。体操を生活の一部にして健康に過ごしましょう！

参加料：無料

別途スポーツ傷害保険料 1,200円(65歳未満は1,850円)の加入が必要です。※年度途中で辞退されても、スポーツ傷害保険料は返金されません。

参加条件および会場：医師から運動を禁止されていない方

○**福祉センター教室** 概ね65歳以上で介護認定を受けていない方。送迎対象者は80歳以上で、ひとりで来場することができず、ご家族も送迎できない方。定員 60人程度

○**市が委託する施設教室** 85歳以上の方。要介護認定を受けた方で要支援1・2の方。送迎あり。定員 各教室20人程度

実施期間：5月中旬～3月の火曜日または金曜日(全40回)

午後2時～3時

申し込み：4月20日(木)まで下記の問い合わせ先にある申込書によりお申し込みください。※定員に達するまで随時申し込み可。



太極拳ゆったり体操教室のようす



わかりやすいDVD付テキスト発売中

2 足腰元気教室

関節痛の予防と改善のため、自宅でできるマッサージやストレッチ、筋トレの方法を学んでみませんか？

参加料：無料

参加条件および会場：医師から運動を禁止されていない方

開催場所	開催期間	定員	申込締切	初回開催日
総合福祉センター	5月～2月 全10回	60人	4月21日(金)	5月11日(木)
熱塩加納保健福祉センター夢の森	5月～2月 全10回	30人	4月21日(金)	5月8日(月)
塩川保健福祉センター	5月～3月 全10回	50人	4月28日(金)	5月25日(木)
山都保健センター	4月～3月 全12回	30人	4月10日(月)	4月12日(水)
カイギウランドたかさと	5月～2月 全10回	30人	4月21日(金)	5月23日(火)

申し込み：電話にてお申し込みください。定員に達するまで随時申し込み可。

詳しくはお問い合わせください。

問 申 高齢福祉課 介護保険・予防室 ☎(24)5242 | 熱塩加納総合支所住民課 市民サービス班 ☎(36)2113 | 塩川総合支所住民課 市民サービス班 ☎(28)1251 | 山都総合支所住民課 市民サービス班 ☎(38)3824 | 高郷総合支所住民課 市民サービス班 ☎(44)2113

休日は 公園で 過ごそう



塩川町御殿場公園

—— 最近、子どもとゆつくり
遊んでいないし、天気もいいし、
外で遊んでみようかな ——

そんな風に思ったら、公園に出掛
けてみませんか。市内には特色のあ
る公園がいろいろ。

なかでも、都市公園は合計24カ所
あります。面積は31万3800平方
メートルになり、滑り台やブランコなど
人気の遊具もたくさんあります。

もっと楽しめる公園へ

公園の遊具の中には、劣化が進み
維持が困難になってしまったものも
多数あります。それらは、平成29年3
月に策定した、「喜多方市公園施設長
寿命化計画」により、順次、新しいも
のに作り替えたり、より長く使い続
けられるよう修繕したりしていまし
ます。

遊具が更新された場合には、広報
や市ホームページでお知らせしま
すので、楽しみにお待ちください。

問 建設課 まちづくり推進室
☎(24)5240



市ホームページ
公園情報
QRコード

旧甲斐家蔵住宅 無料公開のお知らせ

市では、昨年蔵のまち喜多方の象徴的建造物である国登録有形文化財旧甲斐家蔵住宅を取得しました。

今後は、旧甲斐家蔵住宅の文化的価値を高めつつ、観光拠点として保存・活用を進めていく予定です。

本格的な公開に先立ち、店蔵と蔵座敷について当面の間入場無料で公開します。

今では入手困難な建材、類を見ない美しい工法が駆使された、県内を代表する歴史的建造物です。

市民の皆さんや観光客など、多くの方に親しまれる施設として保存・活用していきますのでぜひ、この機会にご覧ください。



無料公開開始日 4月14日(金)

開館時間 午前9時～午後5時
※4月14日は午前10時から

閉館日 12月29日～1月3日
(建物のメンテナンスなどにより臨時休業あり)

入場料 無料

問 観光交流課 観光・物産振興室 ☎(24)5249

きれいな公園は
地域の皆さんの協力によって
支えられています

公園などに対する愛護意識の高揚と環境美化を図るため、「喜多方市公園等管理サポート協定制度」を設け、協定を締結していただいた団体の皆さんとともに、都市公園などの環境美化に努めています。

平成17年4月に始まったこの制度により、平成28年度には28団体の皆さんに4～11月の活動期間中、177回、延べ4640人に活動していただきました。



▲しだれ桜会の皆さん
による植栽活動

活動は主に、ゴミ拾い、除草、植栽、トイレ掃除、草刈です。特に、都市公園やしだれ桜散歩道での秋の落ち葉掃除には、大変な手間をかけて作業していただいています。



▶上町西行政区の
皆さんによる
落ち葉掃き



サポート協定
団体紹介「東栄会」

塩川町東栄町の有志17名で結成された、「東栄会」さんは、毎年4月から11月の第1日曜の早朝、中央公園の清掃・除草・植栽などのボランティア活動をしています。

平成28年11月には会の結成40周年を記念し、中央公園に八重紅シダレザクラを植樹しました。花が咲き、皆さんの目を楽しませてくれる日が待ち遠しいです。

7月から市の健(検)診が始まります

～受診券・受診録は6月中旬に緑色の封筒で郵送します～

- 国保加入者の【特定健診】は40歳～74歳の方が 無料
- 【後期高齢者健診】はすべての方が 無料
- がん検診等初年度該当となる方は 無料
- 国保人間ドックの対象者45・50・55・60・65歳の方※
には、個別に案内通知を差し上げます。

※平成30年3月31日現在での年齢

◆詳しくは、3月15日に全戸配布された【健康のしおり 保存版】をご覧ください。

お得なけんしん
受けてあんしん



胃がん検診 対象年齢：50歳以上の偶数年齢(2年に1回)

『新50歳』および『前年度50歳で胃がん検診未受診』の方は胃がん検診が無料で受けられます。

胃がん検診を受けるメリット

出典：国立がん研究センター がん情報サービス

★胃がんの5年生存率は、症状が出て病院を受診した場合は60～70%、検診を受けて治療した場合は約80%以上。内視鏡で切除できるような早期の小さいがんなら、ほぼ100%です。3年間に1度でも内視鏡検診を受診することで、胃がんの死亡リスクは30%減少することがわかっています。定期的な胃がん検診受診をお勧めします。

X線(胃バリウム)と内視鏡(胃カメラ)の違い

X線(胃バリウム)



造影剤(バリウム)を胃粘膜に附着させて撮影し、粘膜の凹凸と形状から診断する方法。

内視鏡検査(胃カメラ)



細長い管(スコープ)を口または鼻から入れ、直接胃の粘膜を観察する方法。
X線検査に比べ、内視鏡の方がより多く早期のがんを見つけることが可能です。

X線検査(胃バリウム)と内視鏡検査(胃カメラ)、どちらも胃がんの早期発見で、適切な治療を行えば死亡率を下げる事ができます。

私たちの健康は私たちの手で 食生活改善推進員

◆食生活改善推進員とは？

健康づくりや食育を進めるため日々活動しているボランティア組織で、愛称は「食改さん」です。私たちの身近なところで食を通してさまざまな活動をしています。

会員は現在、196人で、健康づくりについて研修を受け、学んできたことを会員から会員へ、会員から家族へ、お隣さんへと地域に伝え広げる活動をしています。

◆主な活動は？

○教室開催

公民館で食事やおやつを作る教室を開き、食事作りの楽しさ、元気なからだを作るための食事の量や味付け、バランスのとれた食事づくりのヒントを伝える活動を続けています。

○市保健事業への協力

食育教室、離乳食教室では子育てをしている親が日頃から野菜をとることや適塩の味付けを意識し、自身の健康や食にも関心を持つような働きかけをしています。

◆郷土料理を子どもたちへ

食育に関心が集まる今日、食改さんは郷土料理を子ども達へ伝え、地産地消の取り組みを進めています。

地区公民館での親子料理教室や、こども園での食育教室、小中学校で収穫した作物などを使い、子どもたちに材料の切り方や器具の使い方を教える調理実習を行っています。

各家庭で、郷土料理や伝統食を作る機会が減り親から子へ伝えることが難しい中、先人から受け継いできた食文化を伝える担い手として、食改さんは活動の場を広げています。



食育教室で笹巻きづくり
(姥堂こども園にて)

あなたも食改さんになりませんか。
保健課までお問い合わせください。

問 保健課 健康推進室

☎ (24) 5223



おから団子の酢鶏



ポイント

肉団子はおからが入ってるのでぎゅっと丸めずに、手のひらでくるくると軽く丸める。(きつく丸めると口当たりが悪くなります)
あとから炒める野菜はアスパラ、スナップエンドウ、ブロッコリーなどを季節に合わせて変えても楽しめる1品です！

《食改さんのおすすめ料理》

会員が腕をふるい、栄養バランス、価格などを考慮した献立です。食改さんは、食を通して家庭・地域への健康づくりを推進しています。

【材料(4人分)】

鶏ひき肉	200g	玉ねぎ	100g
おから	200g	ピーマン(赤)	100g
長ねぎ	70g	ピーマン(緑)	40g
卵	60g	しいたけ	4枚
酒/片栗粉	各14g	油	少量
砂糖/塩	各3g	酢/しょうゆ	各大さじ2
油	適量	鶏がらスープ素	小さじ2
水溶き片栗粉(水	150cc	片栗粉	小さじ1強)

【作り方】

- ①ボウルに鶏ひき肉、おから、長ねぎ(みじん切り)、卵と調味料(酒、片栗粉、砂糖、塩)を加え練り混ぜる。
- ②①を20等分に丸め、油で揚げ焼きにして、油をきっておく。
- ③玉ねぎ、ピーマン、しいたけは食べやすい大きさに切る。
- ④フライパンに少量の油を入れ、玉ねぎを炒める。
しんなりしたら、ピーマン、しいたけを炒め、残りの調味料、肉団子を加え強火にする。
最後に水溶き片栗粉を加えとろみをつける。



生涯学習講師派遣事業を利用しませんか

◆生涯学習講師派遣事業

団体やサークルなどの自主的な生涯学習活動で講師を招いて活動をする場合、申請により講師料を助成します。

○主な条件

- ①市内に活動拠点を持つ団体やサークルの学習会で、10人以上の参加者があること
 - ②過半数が市民で構成されるグループの学習会で、10人以上の参加者があること
 - ③公的機関が主催や共催になっていないこと
 - ④政治活動・宗教活動・営利目的の学習でないこと
 - ⑤講師がその団体の会員でないこと
- 助成内容
- ・市内在住の講師：6千円を限度
 - ・市外在住の講師：1万円を限度
 - ※1団体につき年間2回まで基準に応じ助成します。

○申し込み方法

実施日の2週間前までに、申請書を生涯学習課へ提出してください。

◆人づくりの指針講師派遣事業

人づくりの指針の内容をわかりやすく解説する講師を派遣し、申請により講師料を助成します。

皆さんが所属する各種団体で講演会などを開催してみませんか。



○派遣する講師

申請者の要望に応じて、瓜生岩子刀自、蓮沼門三翁、藤樹学、「人づくりの指針」などについてわかりやすく解説する講師を派遣します。

○助成内容

年度内1回まで講師料(生涯学習講師派遣と同額)を助成します。

○申し込み方法

実施日の2週間前までに、申請書を生涯学習課へ提出してください。

※申請書提出の前に、電話などで派遣希望の内容、日時、場所をご連絡ください。

○講師派遣の例

- ・小中学校：総合的な学習の時間やPTAの各種行事
- ・公民館：各種事業での研修会
- ・各種団体：行事や研修会など
- ※申請書類など、詳しくはお問い合わせください。

問 生涯学習課 生涯学習係
☎(24) 5318

蔵のまち喜多方桜ウォーク2017
 開催にご協力を

4月22日(土)は、市内外から約2000人の参加が予定され、日中線記念自転車歩行者道や押切川公園スポーツ広場などの会場周辺の混雑が予想されます。

市民の皆さんにはご迷惑をお掛けいたしますがご協力をお願いいたします。

問 桜ウォーク実行委員会事務局(生涯学習課 スポーツ振興係内)
☎(24) 5319

2017オリンピックデーラン
 喜多方大会を開催します

オリンピック(オリンピック出場経験者)と市民が一緒に楽しくジョギングするイベントを今年も開催します。

ジョギングやウォーキング、トークコーナーやサイン会、スポーツ教室など、オリンピックと触れ合う絶好の機会ですので、ぜひご参加ください。

※参加オリンピックなどについては、広報や(公財)喜多方市体育協会ホームページなどでお知らせします。

◆開催日 7月2日(日)

◆会場 押切川公園スポーツ広場

◆対象 小学生以上

◆参加料 1人500円

問 (公財)喜多方市体育協会(押切川公園体育館内)
☎(23) 0771

住民基本台帳の一部の写しの閲覧状況

住民基本台帳の一部の写しの閲覧は、公共性・公益性が認められる場合のみできるようになっています。
住民基本台帳法第11条第3項および第11条の2第12項に基づく、喜多方市における住民基本台帳の閲覧状況を次のとおり公表します。

■対象期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日

○国・地方公共団体の機関が法令で定める事務を行うためのもの

No.	国または地方公共団体の機関の名称	請求事由の概要	閲覧月日	閲覧に係る住民の範囲
1	福島県(会津保健福祉事務所)	平成28年国民健康・栄養調査地区の内に伴う対象地区住民の把握	6月29日	豊川町一井の男女
2	防衛省(自衛隊福島地方協力本部)	自衛官および自衛官候補生の募集	11月15日～16日	市内全域の平成11年4月2日～平成12年4月1日生まれの男女

○統計調査、世論調査、学術研究その他の調査研究のうち、公益性の高いもの

No.	申出者の氏名(法人の場合にあってはその名称および代表者または管理人の氏名)	委託元	利用目的の概要	閲覧月日	閲覧に係る住民の範囲
1	一般社団法人中央調査社会長 西澤 豊	日本放送協会	「テレビ放送に関するアンケート」の対象者抽出	5月18日	熱塩加納町米岡、塩川町の平成10年7月末日まで生まれた18歳以上の男女
2	一般社団法人新情報センター事務局長 平谷 伸次	公立大学法人福島県立医科大学	「健康と情報についての調査」の対象者抽出	7月14日	字花園、字経壇、熊倉町熊倉、熱塩加納町加納の20歳以上80歳未満(平成28年7月1日現在)の男女
3	一般社団法人新情報センター事務局長 平谷 伸次	NHK放送文化研究所	「参院選の政治意識調査2016」の対象者抽出	8月4日	関柴町三津井、関柴町平林の平成10年6月30日以前に生まれた18歳以上(平成28年7月1日現在)の男女
4	株式会社ITスクエア代表取締役社長 渡邊 亨	福島県	「福島県政世論調査」の対象者抽出	9月28日	字清水台、塩川町新江木の満15歳以上の男女
5	一般社団法人中央調査社会長 大室 真生	国土交通省	「平成28年度土地問題に関する国民の意識調査」の対象者抽出	10月25日	塩川町字東栄町の平成8年10月末日まで生まれた満20歳以上(平成28年10月末日現在)の男女
6	株式会社日本リサーチセンター代表取締役社長 鈴木 稲博	国立大学法人お茶の水女子大学	「安全安心な社会とレジヤに関する調査」の対象者抽出	11月10日	字押切、字押切東、字押切南の昭和12年1月1日～平成10年12月31日生まれの18歳以上79歳以下の男女
7	株式会社インテージリサーチ代表取締役社長 井上 孝志	環境省	「平成29年度家庭部門のCO ₂ 排出実態統計調査」の対象者抽出	11月29日	字押切の昭和3年4月2日～平成9年4月1日生まれの男女
8	株式会社ビデオリサーチ代表取締役社長 加藤 譲	日本たばこ産業株式会社	「2017年全国たばこ喫煙者率調査」の対象者抽出	1月26日	字沼田、字小田付道上、字水上、字上川向、字緑町、字小田付道下の昭和2年5月1日～平成9年4月30日生まれの男女
9	株式会社日本リサーチセンター代表取締役社長 鈴木 稲博	日本銀行	「生活意識に関するアンケート調査」(第70回)の対象者抽出	2月7日	豊川町高堂太、豊川町米室の平成9年4月30日以前に生まれた20歳以上の男女

問 市民課 市民窓口班 ☎(24)5225